

台風24号に伴う農作物の管理について

平成30年9月28日

J A佐渡営農事業部

台風24号が10月1日深夜から早朝にかけて最接近しますので、今後の作物管理についてご注意願います。
※台風最接近・通過中は絶対に施設やほ場等に出歩かず、安全な屋内等で事故に遭わないようにしてください。

1 野菜・花卉

【事前対策】

ハウスやトンネルはマイカー線やくいなどのあおり止めを点検補強するとともに、周辺で風に飛ばされるおそれのあるものはかたづけする。

【事後対策】

- (1) 病害が発生しやすくなるので、発生状況を確認して防除を実施する。特に、これまで強風等の被害を受けたほ場では防除を徹底する。
- (2) 草勢回復のため、葉面散布や液肥等による追肥を行う。

2 果樹

【事前対策】

防風網や果樹棚の破損部分やたるみを直し、金具や支線の腐食箇所などを事前に点検補強する。

収穫期間中の作物は台風前にできるだけ収穫する。

【事後対策】

風を伴った降雨の場合は、枝葉の傷みを確認し、必要に応じて収穫前使用基準に特に注意し、追加防除を実施する。(薬剤については、営農窓口で確認して下さい。)

枝が欠損した場合は、切り直して保護剤を塗布する。

3 水稻

【事前対策】

- ・収穫期を迎えているほ場は可能な限り収穫とする。
- ・収穫期前のほ場は、大雨時のほ場の停滞水を迅速に排除するため、排水路の点検・整備を実施する。

【事後対策】

- ・浸・冠水した場合は、できるだけ早く排水する。穂先まで冠水した場合は特に排水を急ぐ。
- ・倒伏している場合は、穂発芽しやすいので、速やかに排水するとともに、収穫期を迎えたほ場は晴れ間を逃さず収穫する。